

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-47 □支援部門		国保組合支援事業				
主管課	保険年金課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	市内に居住する国民健康保険組合の組合員とその家族の安定した医療保障を図る。						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
	事業の対象者数	1,182人	1,214人	1,269人			
事業の対象者数	1,182人	1,214人	1,269人				
運営資源状況	決算値(千円)	118千円	122千円	127千円			
	(国・県)	0千円	0千円	0千円			
	(負担金等)	0千円	0千円	0千円			
	(一般財源)	118千円	122千円	127千円			
	人員配置数	0.1人	0.1人	0.1人			
	人件費(千円)	890千円	941千円	1,001千円			
	協働のパートナー						
事務事業運営経費	総事業費(千円)	1,008千円	1,063千円	1,128千円			
	市民1人当りの経費(円)	6円	6円	6円			
	対象者1人当りの経費(円)	100円	100円	100円			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性 A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
国保組合支援事業	118千円	①効率性 △ ②妥当性 △ ③有効性 △ ④公平性 △		⇒ □A □B □C □D ■E
	事業の概要	保険事業の健全化と事業運営の支援の一助とする目的で、国民健康保険組合へ補助金を交付する。		
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要			

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)				
H22年度の課題	当該補助事業の廃止について対象団体の理解を得られていない。また、補助額の増額要望が毎年出ている。			
課題解決のための取組	補助額の増額要望団体に対し、当該補助事業の廃止の方向性を示し、補助金単価を減額した。			
未解決の課題	当該補助事業を廃止できなかった。			
今後の方針	制度の廃止に向けて関係団体の理解を得られるように努める。			
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒ E	※ □事業完了	課長名 保険年金課長 相澤 昭弘

